

2012年2月期（平成23年度）
第3四半期決算補足資料

1 . 第3四半期連結決算概要

2 . 2012年2月期の業績予想

このプレゼンテーションには、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
社会・経済・競合状況の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の内容と異なる可能性があります。

第3四半期連結決算概要
2011年2月16日～11月15日

第3四半期業績ハイライト

連結業績

売上高	: 583億56百万円	前年同期比	3.1%
営業利益	: 2億 7百万円	前年同期比	1億48百万円改善
四半期純利益	: 3億31百万円	前年同期比	1億58百万円改善

震災の影響などにより売上高は、前年同期を下回る結果となった

厳しい環境が継続しているが原価低減、販売管理費の削減により収支が改善した

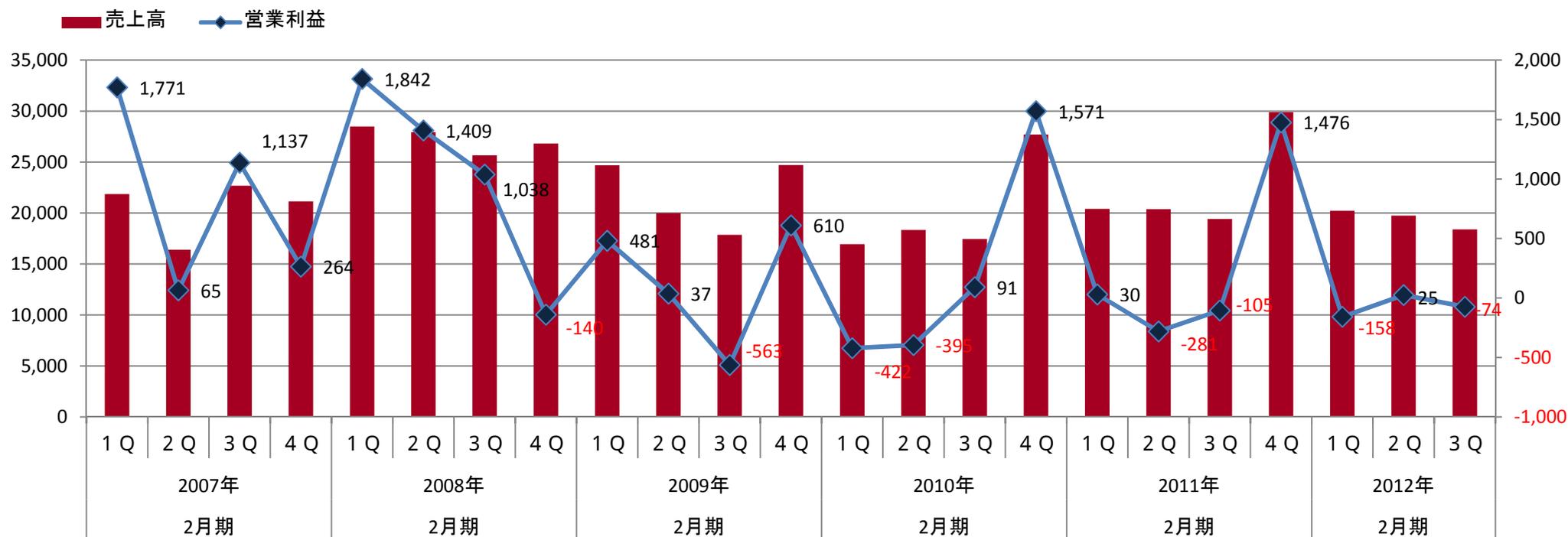
1. 第3四半期連結決算概要

売上高・営業利益の四半期推移

近年は第4四半期に売上が集中する下期型の業績推移が続いている

(単位:百万円)

(単位:百万円)



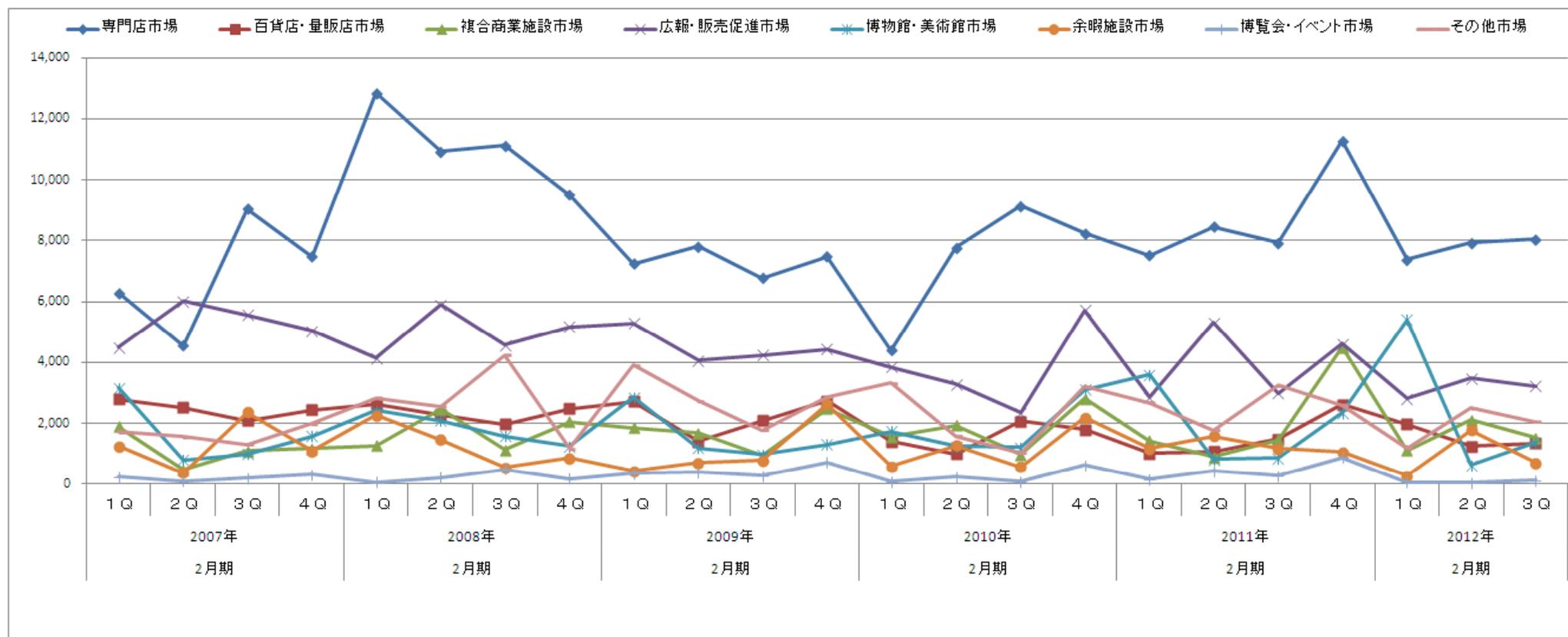
1. 第3四半期連結決算概要

市場分野別の四半期推移

商業施設、展示会イベントのオープニングは、春・秋に集中する傾向がある

一方、オフィスや金融店舗、博物館の運営管理業務など季節に左右されない仕事が増加している

(単位:百万円)



(注)不動産事業と飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

1. 第3四半期連結決算概要

市場分野別の状況

震災の影響により広報・販売促進市場が減収となる一方、商業施設分野は堅調に推移した
余暇施設、博覧会・イベント、その他市場の減少は、前年同期に大型プロジェクトが計上されていたことが要因

(単位:百万円)

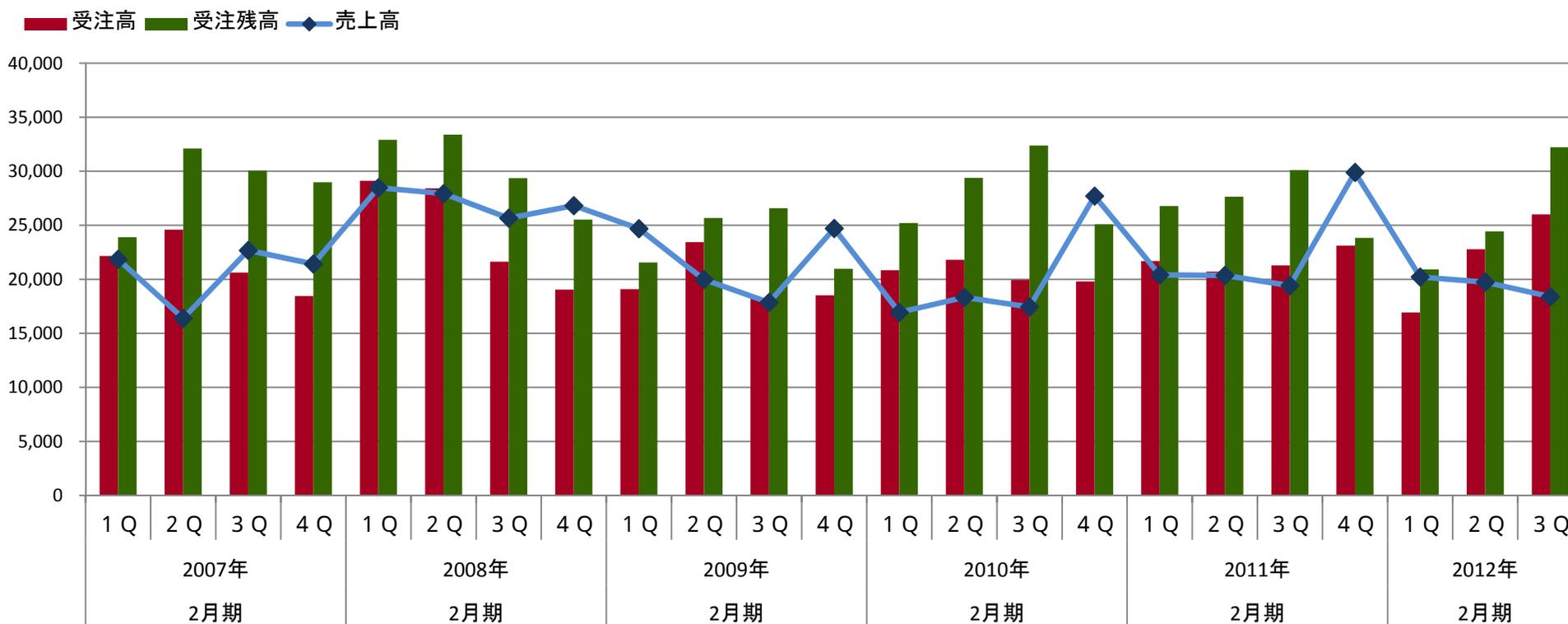
<第3四半期>	2011年2月期		2012年2月期		売上構成比		ポイント
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	前期	今期	
専門店市場	23,865	12.1%	23,342	△2.2%	39.6%	40.0%	ファストファッション、海外・国内アパレルブランドのほか金融機関の店舗展開など幅広いジャンルを手掛けた
百貨店・量販店市場	3,588	△20.1%	4,593	28.0%	6.0%	7.9%	大阪、名古屋の主要駅周辺の百貨店改装に加え量販店・スーパーの環境演出、内装を手掛け増収
複合商業施設市場	3,802	△15.1%	4,779	25.7%	6.3%	8.2%	主要駅、空港などの商業施設の改装および再開発関連の需要が増加
広報・販売促進市場	11,156	17.6%	9,496	△14.9%	18.5%	16.3%	震災の影響を受けて減収となったが、住設関連、家電、ゲーム、製菓会社などのPR施設、展示会を多数手掛けた
博物館・美術館市場	5,286	25.6%	7,408	40.1%	8.8%	12.7%	大型科学館や人気アニメの博物館の展示制作のほか運営業務の受託増加により大幅な増収
余暇施設市場	3,930	62.3%	2,761	△29.7%	6.5%	4.7%	水族館や大型テーマパーク、子供向けアミューズメント施設、ホテルの展示演出などを手掛けた
博覧会・イベント市場	871	110.6%	232	△73.4%	1.5%	0.4%	植樹祭など公共のイベントを手掛けたが、大型案件がなく減収、前期は上海万博を計上していた
その他市場	6,165	39.6%	4,320	△29.9%	10.2%	7.4%	オフィスや病院、ブライダル施設などの環境演出を手掛けた
ディスプレイ事業 小計	58,667	14.6%	56,936	△3.0%	97.4%	97.6%	
不動産事業	371	△8.2%	352	△5.3%	0.6%	0.6%	所有する商業・オフィスビルの賃料収入
飲食・物販事業	1,170	4.9%	1,068	△8.8%	2.0%	1.8%	ミュージアムショップ、物販・飲食店舗の運営
合計	60,209	14.2%	58,356	△3.1%	100.0%	100.0%	

1 . 第 3 四半期連結決算概要

受注高・受注残高の四半期推移

受注残高は第 3 四半期までに大きく積みあがる傾向が続いている

(単位:百万円)



1 . 第3四半期連結決算概要

市場分野別の受注状況

前期に大型プロジェクト受注のあった複合商業施設市場が減少したものの、受注高は商業施設分野を中心に高い水準を確保した受注残高は、大型プロジェクトの売上計上により博物館・美術館市場が減少したが、当期末から来期にかけて引き渡しをおこなう大型複合商業施設や企業ショールーム、オフィス環境演出などの需要が増加している

(単位:百万円)

<第3四半期>	2011年2月期		2012年2月期		受注高 前年同期比 増減		受注残高 前年同期比 増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高				
専門店市場	26,111	8,240	26,648	8,052	537	2.1%	△188	△2.3%
百貨店・量販店市場	4,462	1,791	5,257	1,491	794	17.8%	△300	△16.7%
複合商業施設市場	6,234	4,232	5,082	5,556	△1,152	△18.5%	1,324	31.3%
広報・販売促進市場	11,966	4,544	11,887	5,726	△79	△0.7%	1,182	26.0%
博物館・美術館市場	4,835	7,229	5,287	4,279	451	9.3%	△2,949	△40.8%
余暇施設市場	3,018	1,355	3,301	1,579	282	9.4%	224	16.5%
博覧会・イベント市場	862	680	379	294	△482	△56.0%	△386	△56.8%
その他市場	6,201	2,042	7,476	5,243	1,274	20.6%	3,200	156.7%
合計	63,693	30,116	65,321	32,223	1,627	2.6%	2,107	7.0%

(注)不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。 8

1 . 第3四半期連結決算概要

連結損益計算書

(単位:百万円)

＜第3四半期＞	2011年2月期	2012年2月期	前年同期比 増減率		ポイント
売上高	60,209	58,356	△1,853	△3.1%	売上高は、震災の影響を受けた広報・販売促進市場、前期に大型プロジェクトがあった余暇施設市場、その他市場などが減少し、前年同期を下回った
売上総利益(率)	7,681(12.8%)	7,652(13.1%)	△29	△0.4%	コスト削減により総利益率は若干の良化 震災影響や経済環境の停滞などにより価格競争が続いている
販売管理費(率)	8,037(13.4%)	7,859(13.5%)	△177	△2.2%	調査資料費などの営業経費削減を徹底し、販売管理費は減少
営業利益(率)	△356(－)	△207(－)	148	－	固定費の削減効果により赤字幅縮小 前年同期比1.4億円の改善
経常利益(率)	△226(－)	△150(－)	75	－	
特別利益	79	309	229	289.8%	受取保険金、ストックオプション失効に伴う戻入れ
特別損失	106	468	361	337.5%	震災関連(弔慰金・見舞金・義援金・修繕費等) 73百万円 前会長退職慰労金・社葬費用等 1.9億円 過年度給与手当 1.6億円
当期純利益(率)	△489(－)	△331(－)	158	－	前期にあった税効果の取崩しがなくなり1.5億円の改善

1. 第3四半期連結決算概要

販売管理費の四半期推移

(単位:百万円)

■ 経費 ■ 人件費 ◆ 販売管理费率



	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
経費	779	748	764	854	996	1,066	1,021	1,197	974	1,032	861	1,082	822	801	545	832	783	753	776	993	736	654	684
人件費	1,768	1,843	1,789	2,145	1,968	2,145	2,100	2,200	2,156	2,017	2,066	1,984	1,956	1,888	1,869	1,896	1,927	1,906	1,891	1,922	1,943	1,903	1,937
販管費	2,548	2,591	2,553	2,999	2,964	3,211	3,122	3,397	3,131	3,049	2,927	3,067	2,778	2,689	2,415	2,728	2,710	2,659	2,668	2,915	2,680	2,557	2,621

1 . 第 3 四半期連結決算概要

連結貸借対照表

(単位:百万円)

		2011年2月期	2012年2月期 第3四半期	前期末比 増減		ポイント
資 産	流動資産	29,465	25,929	△3,535	△12.0%	現金・預金+3.6億円:前期末の売上債権回収によるもの 受取手形及び売掛金△80.5億円:売上債権の回収に伴う減少 たな卸資産+39.2億円:受注残高の増加によるもの
	固定資産	23,396	22,657	△739	△3.2%	減価償却累計額△2.4億円 投資有価証券△2.5億円:評価差額等によるもの
	資産合計	52,861	48,587	△4,274	△8.1%	
負 債 ・ 純 資 産	流動負債	21,798	18,703	△3,094	△14.2%	支払手形及び買掛金△35.4億円:仕入の減少によるもの 未払法人税等△6.9億円:前期分の法人税等の納付によるもの 前受金:+7.4億円:受注残高の増加によるもの
	固定負債	6,384	6,012	△371	△5.8%	役員退職慰労引当金△1.6億円:役員の改選によるもの その他(長期預り保証金):△1.6億円
	負債合計	28,182	24,716	△3,466	△12.3%	
	純資産	24,679	23,870	△808	△3.3%	利益剰余金△5.5億円:配当金の支払いと四半期純損失 その他有価証券評価差額金△1.8億円:所有有価証券の時価下落
負債純資産合計		52,861	48,587	△4,274	△8.1%	

1 . 第 3 四半期連結決算概要

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

<第3四半期>	2011年2月期	2012年2月期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,439	1,341	売上債権の減少額80.3億円 :受取手形・売掛金の回収 たな卸資産の増加額39.3億円(△) :その他市場などで受注残高が増加 仕入債務の減少額:35.2億円(△) :支払手形・買掛金の減少 前受金の増加額7.5億円 :受注残高の増加 法人税等の支払額:8.8億円(△)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△660	有形固定資産の取得による支出1.9億円(△) 投資有価証券の取得による支出54百万円(△) 信託受益権の取得による支出2.9億円(△) 長期預り保証金の返還による支出1.5億円(△)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	△243	配当金の支払額2.1億円(△)
現金及び現金同等物の増加額	1,686	428	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,372	1,423	

2012年2月期の業績予想

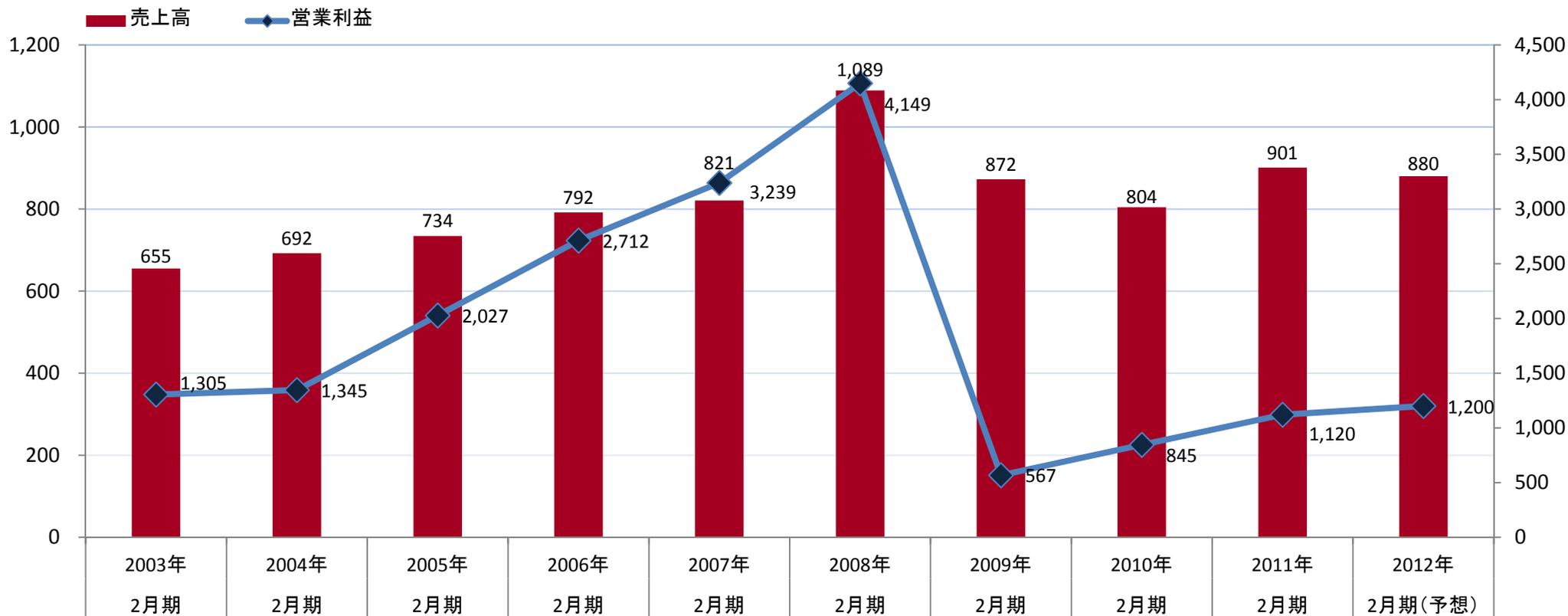
2012年2月期の業績予想

通期業績の推移

通期業績予想
売上高 880億円 (前期比 2.3%減)
営業利益 12億円 (前期比 7.1%増)

(単位:百万円)

(単位:百万円)



(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

2 . 2 0 1 2 年 2 月 期 の 業 績 予 想

2012年2月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2012年2月期 業績予想	2012年2月期 第3四半期	通期予想に対する進捗率
売上高	88,000	58,356	66.3%
営業利益	1,200	△207	—
経常利益	1,300	△150	—
当期純利益	650	△331	—

配 当 の 状 況

	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期
第2四半期末 1株当たり配当金	4円	4円	—
期末 1株当たり配当金	4円	4円	(予想)8円
配当性向(連結)	111.0%	111.6%	68.7%

(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

2012年2月期の業績予想

市場分野別の計画

(単位:百万円)

	2011年2月期		2012年2月期	
	実績	構成比	計画	構成比
専門店市場	35,142	39.0%	34,000	38.6%
百貨店・量販店市場	6,209	6.9%	6,000	6.8%
複合商業施設市場	8,294	9.2%	11,000	12.5%
広報・販売促進市場	15,761	17.5%	14,000	15.9%
博物館・美術館市場	7,631	8.5%	8,000	9.1%
余暇施設市場	4,987	5.5%	3,500	4.0%
博覧会・イベント市場	1,762	2.0%	1,500	1.7%
その他市場	8,269	9.2%	10,000	11.4%
ディスプレイ事業 小計	88,059	97.8%	—	—
不動産事業	491	0.5%	—	—
飲食・物販事業	1,553	1.7%	—	—
合計	90,105	100.0%	88,000	100.0%

(注)実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

(注)2012年2月期の計画につきましては、不動産事業と飲食・物販事業をその他市場に含み、掲載しています。